

Ⅲ 地方債の状況

1 県債発行の状況

(単位:億円)

区 分	令和元年度			平成30年度 9月現計 (D)	増減 (C)-(D)
	現計予算 (A)	9月補正 (B)	合計 (C)		
建設地方債①	855	7	862	792	70
臨時財政対策債等②	1,030		1,030	1,190	▲160
計(①+②)	1,885	7	1,892	1,982	▲90

○ 県債の発行額については、交通安全施設の整備や街路事業の増額などに伴い、約7億円の増額となっています。

2 県債残高の状況

(単位:億円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (ア)	令和元年度 (イ)	増 減 (イ)-(ア)
建設地方債等①	14,290	13,864	13,443	13,300	▲143
建設地方債	13,463	13,079	12,700	12,599	▲101
退職手当債	827	785	743	701	▲42
臨時財政対策債等②	16,331	16,858	17,236	17,391	155
計(①+②)	30,621	30,722	30,679	30,691	12
(参考)満期一括償還 のための積立金残高	4,125	4,619	5,074	5,342	268

注1 満期一括償還分の積立金残高を控除した実質的な地方債残高

注2 臨時財政対策債等：臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債

注3 平成29年度までは決算額、平成30年度は決算（見込み）、令和元年度は9月補正後見込み

○ 令和元年度末の県債残高(満期一括償還分の積立金を除く実質残高)については、建設地方債等が前年度に比べ143億円の減となる一方、普通交付税の振替である臨時財政対策債等が前年度に比べ155億円の増となった結果、3兆691億円となる見込みであり、前年度に比べ12億円の増となっています。

